

履修証明プログラム

図書館・博物館・文書館 専門職のための 実践的研究入門講座

Practical Research Introduction Course for
Library, Museum, and Archive Professionals

本プログラムは、図書館・博物館・文書館で働く専門職を対象に、最新の政策やサービス、地域文化資源の管理・運営に関する高度な知識と、研究の基礎スキルを体系的に学べる機会を提供します。オンデマンドによる柔軟な学習環境により、仕事と両立しながら自分のペースで学習可能です。キャリアアップを見据えた、リスキリングの第一歩として最適です。

主催：筑波大学大学院 情報学学位プログラム

“文化施設の未来は、
学び研究する専門職がつくる、”
今こそ、文化施設専門職のための本気のリスキリング



対象

司書、学芸員もしくはアーカイブズ関連の資格を有すること。または、これらの資格がなくとも図書館、文書館、博物館で3年以上の実務経験を有すること。
(定員15名程度)

特色

- ・ 図書館・博物館・文書館の専門職のリスキリングに最適
- ・ 全授業はオンラインオンデマンド型(所定の期限内であれば、自宅のPC等から自分の好きな時間に受講できる授業形態で提供しているため、遠隔地からでも受講可能)
- ・ 修了^{*1}を認定された方に筑波大学長名の「履修証明書」を授与
- ・ 修了を認定された方に単位を付与^{*2}

申請

受講申請の詳細に関しては、1月上旬に掲載いたします。
「QRコード」をご参照下さい。受講料154,200円(5科目)



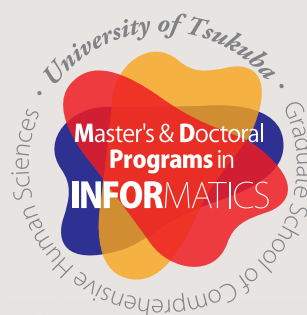
【お問い合わせ】筑波大学図書館情報エリア支援室大学院教務 | tosyoss-daigakuin@un.tsukuba.ac.jp
https://informatics.tsukuba.ac.jp | ☎305-8550 茨城県つくば市春日1-2 | 029-859-1053

^{*1} 修了要件: 標準修了年次1年間(最長2年間)で課題や試験に合格したうえで担当教員グループが十分なレベルに達していると判断すれば、修了とする。

^{*2} 本講座は修了を認定された方にプログラム全体としての単位が付与されますため、個別の科目に対する単位の付与ではありません。ただし、筑波大学大学院における情報学学位プログラムに進学した際には、個別の科目として単位認定を受けることができます。



筑波大学
University of Tsukuba



文化施設の 政策と実践

小泉公乃 (コーディネーター)

本講義では、図書館・博物館・文書館を対象に、豊富な経験と専門知識を有する実務家を講師として招聘し、各分野における政策動向および先進的な実践事例を通して、これら文化施設の経営のあり方とサービスの展開について学修します。

秋
10コマ

必修

学術論文の 書き方

小泉公乃、関洋平、小野永貴

本講義では、主に図書館情報学や情報学の専門職とそれを目指す方が、自身の経験や問題意識を学術的な知見と結び付け、論理的に表現するための学術的な文章の書き方を修得することを目指します。

秋
10コマ

必修

文献調査法

森田ひろみ、李昇姫、大庭一郎
関洋平、村井麻衣子

本演習では、情報学に関連するいくつかの分野を取り上げ、文献の探索方法や読み方に加え、信頼できる情報源、主要な学術誌、論文の構成などについて学びます。代表的な文献を読みレポートにまとめたり発表したりします。

春
20コマ

ライブラリー マネジメント

池内淳、大庭一郎、小泉公乃

本講義では、主に公共図書館を対象に、図書館運営に必要な経営手法を学びます。経営学の理論や技法を紹介し、それを図書館に応用する可能性と限界を考察します。加えて、図書館の社会的役割や政策、人的資源、サービス評価、予算や資金調達、広報、官民連携なども扱います。

春
20コマ

知的財産と情報の安全

阪口哲男、高良幸哉、村井麻衣子

本講義では、著作権やプライバシー保護など、情報に関する法制度と、関連するセキュリティ技術の基礎について学びます。事例を通じて法制度や情報の安全に関わる技術のあり方を考察し、理解を深めます。

春
20コマ

メディア教育

鈴木佳苗、辻慶太、小野永貴

本講義では、生涯学習社会における学校図書館や公共図書館、ネットワーク環境などを含むアナログからデジタルまでの学習環境において、メディアについての学び、メディアを活用した学びや学習環境の在り方を統合的に扱い、その基盤となる理論やモデル、実践について学びます。

秋
20コマ

左記
7科目から
3科目選択

デジタル ヒューマニティーズ

宇陀則彦、和氣愛仁、堤智昭

本講義では、人文学資料にデジタル技術を応用し、新たな知見を得る方法を学びます。具体的には、訓点資料の電子化、多言語資料を対象とした言語学的分析、画像共有のためのフレームワーク Interoperability Framework(IIIF: トリプルアイエフ)、情報資源共有化の意義等について解説します。

秋
20コマ

アーカイブズ

白井哲哉、バルリシエフエドワード
村田光司

本講義では、アーカイブズ学の理論、日本のアーカイブ資料、文書館をめぐる制度と運営、アーキビストの職務について、日本と欧米の事例をもとに学びます。公文書館法や公文書管理法を背景に、図書館と関わりの深いアーカイブ施設の基礎知識も身につけます。

秋
20コマ

博物館情報メディア

白井哲哉、永井正勝、寺地美奈子
Lee Kang

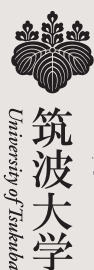
本講義では、情報メディアとしての博物館の役割と可能性について学びます。保存科学を含むリアルとデジタルアーカイブなどヴァーチャルの両面から、映像リテラシーの重要性にも触れながら、資料と情報をめぐる現状と今後の展望を論じます。

秋
20コマ



■本講座は学校教育法に基づく「履修証明プログラム」として、社会人等の多様なニーズに応じた体系的な教育、学習機会の提供の促進を目的としています。また、厚生労働大臣から教育訓練給付制度の対象として指定を受けるべく申請予定です。詳細については厚生労働省のウェブサイトをご参照ください。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

春 4月～8月 **秋** 10月～2月



図書館・博物館・文書館
専門職 ための
実践的研究入門講座

